

## 4. JLCC 授業科目の概要

### 4-1 秋学期開講科目

#### ★ JL101 【日本語の語彙と語法】

日時：金 3 限

担当：岡崎<sup>おかざきともみ</sup>智己

教材、目標、概要及び評価は「参考資料（JL101シラバス）」を参照

#### ★ JL102 【日本の文学】

日時：火 2 限

担当：齊藤信浩

概要：この授業では日本の近現代の小説や詩などの文学作品を紹介し、読んでいきます。そして、その内容について考えたり、話したりして行きます。語彙や表現が難しいところが多いと思いますが、それらを細かく理解するのがこの授業の目的ではなく、作品を読んで、大まかで良いのでストーリーを理解し、味わった上で、自分の意見を考えることが大切です。授業の中では、作家の紹介や時代背景の紹介もしていきますので、学期が終わる頃には、日本の作家について色々と詳しくなっていることと思います。

評価：出席（30%）、発表（30%）、レポート（30%）、その他（10%）

#### ★ JL103 【日本語・日本文化概論 A】

日時：水 1 限

担当：郭<sup>かく しゅんかい</sup>俊海

教材：プリント

目標：有名な作家の作品を読むことで、日本語の力をつける。具体的には、1) 様々なスタイルに触れる（文法のレビューなど）；2) その作家の感じ方・考え方を正確に読み取る（語彙を増やす）；3) 自分の考え方を述べる（話す力・書く力）；4) 背景にある社会の様子を含めて作品を理解する（総合的に考える）

概要：1) 予習：作品を読みワークシートの質問の答えを書いてクラスに持ってくる。

2) クラス活動：グループで、各自が書いてきたワークシートの答え紹介し合い、それについてみんなで話し合う。

3) 各グループの代表が話し合いの結果をクラスに発表、教師が総括する。

評価：提出されたワークシートや授業参加態度及び発表に基づいて評価する。

#### ★ JL104 【日本映像文化論 A】

日時：木 5 限

担当：川邊<sup>かわべりえ</sup>理恵

教材：近年の日本映画作品とその映画に関する文章。

目標：4つの映画作品を観て、その内容について討論し、映画を通して日本の現代社会を考える。

映画の中の日本語表現を背景・状況の中で理解し、その映画に関する資料を読み、日本語で感想や意見を述べ、また他の学生の意見を聞くことで、総合的な日本語力を向上させ、さまざまな視点から日本社会、日本人、日本語を見る。

概要：映画を見て、感想や疑問点、注目した日本語表現などをシートに書き提出する。その映画の解説や映画評、原作などに触れ、理解を深める。各学生は担当する映画を選び、同じ映画を選んだ学生とともに、その映画について考察し発表する。その発表をもとにクラス全体で意見を交換する。各映画ごとに感想シートを提出、自分の担当した映画については、最終レポートを作成する。

評価：提出されたワークシートと感想シート、最終レポート、発表、授業参加態度に基づいて評価する。

### ★ JL105 【日本語総合力を使おう】

日時：金2限

担当：<sup>ひきたみのぶ</sup> 疋田美伸

教材：文化中級日本語Ⅱ（\*予定）

目標：文法・語彙の運用力をつけ、日本語の表現力を身につける。

概要：日本語の総合的な力を磨く。いろいろなジャンルの日本語を通して、実際に使われている日本語を味わい、自らの日本語力をより実践的に使えるものにする。社会の問題や文化の「今」を自由に発信できるようにする。自らの社会や文化について詳しく説明できるようにする。

評価：課題（タスクシート、レポート）の内容、文法・語彙・表現の確認クイズ、授業参加態度に基づいて評価する。

### ★ JC102 【日本人と和菓子】

日時：火3限

担当：脇坂真彩子

教材：プリントを配布する。

参考図書：青木直己（2000）『和菓子の今昔』淡交社

目標&概要：和菓子は日本人にとって、生活に潤いを与えてくれる、なくてはならないものである。明治以降、洋菓子が日本に入ってきてからも、現在に至るまで人々に好まれている。このように身近にある和菓子であるが、起源は縄文時代に遡り、その歴史は長い。和菓子は年中行事と深く結びつき、現在に至るまで日本人の生活の一部になっているのである。また、「和菓子とは日本文化を具現化したもの」だと言われるように、それは、古典文学や自然、季節と関連が強く、芸術性がある奥深いものである。この授業では、古代～現代に至るまでの和菓子の発展の歴史を概観することによって、当時の日本人の生活を垣間見、日本人にとって身近な和菓子について、その背景にある文化とともに理解する。また、授業を通して、和菓子の芸術性も楽しんでもらいたい。

評価：出席、課題、期末レポート、授業への参加度に基づき評価を行う。

### JC103 【現代日本の姿】

日時：木 2 限

担当：西頭由紀子<sup>にしとうゆきこ</sup>

教材：新聞や雑誌の記事

目標：ひとつの物事をできるだけ多様な観点からとらえ、考えを深めていく。

概要：今一番日本のメディアで取り上げられているトピックは何なのか。記事を読み、その背景を考える。要旨をまとめたり、記事に対する批判や意見を述べ、議論する。内容に関連するドラマや番組も使って、ひとつのトピックを多角的に考えてみる。

評価：宿題、レポート、授業中の発表で評価する。

### ★ JC104 【ドラマで学ぶ日本の歴史】

日時：水 3 限（注：12:30～14:30 の120 分授業です）

担当：小山 悟<sup>こやま さとる</sup>

教材：ハンドアウトを用意する

目標&概要：このクラスでは、2009年10月から3ヶ月間TBS系列で放送された連続ドラマ「JIN-仁-」全11話を題材に幕末の歴史について学びます。日本語について学ぶクラスではありません。日本語以外の専門的な内容（ここでは歴史）を学ぶ中で間接的に日本語の運用力を高め、いくクラスなので、成績評価も日本語力と歴史の知識・解釈力の両面から行われます。決して楽なクラスではありません。

評価：出席、レポート、発表、期末試験

### ★ JC105 【4コマ漫画にみる日本A】

日時：火 5 限

担当：和田玉己<sup>わたたまき</sup>

教材：4コマ漫画とその内容に関する文章。

目標：新聞連載の4コマ漫画などを見て、その内容について話し合い、4コマ漫画を通して日本の現代社会や自国との笑い（ユーモア）の違いを考える。

概要：ワークシートに沿って4コマ漫画の吹き出しのセリフを考える。セリフの中の日本語表現にも注目し、感想や疑問点を出し合う。また関連した記事も読み理解を深める。期末に自国の4コマ漫画を紹介するレポートを作成し発表する。

評価：提出されたワークシートとレポート、授業参加態度に基づいて評価する。

## 4-2 春学期開講科目（予定）

### ★ JL201【日本語のスタイルと表現】

日時：金 3 限

担当：岡崎智己

教材等：（別添シラバス参照）

### ★ JL202【日本語演習：古典と映像資料で学ぶ日本語のバリエーション】

日時：金 3 限

担当：齊藤信浩さいとうのぶひろ

目標&概要：この授業は、文献や映像資料などを見ながら、日本語の中の様々なバリエーションについて学習をし、意識的に知覚できるようにするのが目的である。「意識的に知覚」というのは、必ずしも学習者自身がこれらの日本語のバリエーション（男女語、役割語、方言、社会階層語 etc.）を使えなくても構わない。意識的に聞き分け、理解できるようになることが目的である。本講義では、このようなバリエーションを映像や文献を用いて示していく。そして、古典語の文献を読むという作業を講義の骨子として進めて行き、現代語と古典語の理解を進め、日本語の深い部分を味わってもらいたい。

評価：出席 30%、レポート 30%、発表 20%、クラス活動 20%

### ★ JL203【日本語・日本文化概論 B】

日時：水 1 限

担当：郭俊海かくしゅんかい

教材：プリント

目標&概要：奈良時代から明治時代の日本の歴史を概観し、社会制度や経済政治の変遷、対外政策、宗教およびその次代の建物などについて考え、日本の歴史や文化の理解を深める。そして、それぞれの時代を特徴づける重要なキーワード（人名、地名、社会現象、歴史的な事件など）を通じ、当時の人々の心を想像し日本文化への興味や関心を高める。

評価：毎回ワークシートを提出し、ワークシートや発表、平常点などを総合して評価する。

### ★ JL204【日本映像文化論 B】

日時：木 5 限

担当：川邊理恵かわべりえ

教材：近年の日本映画作品とその映画に関する文章。

目標：4つの映画作品を観て、その内容について討論し、映画を通して日本の現代社会を考える。

映画の中の日本語表現を背景・状況の中で理解し、その映画に関する資料を読み、日本語で感想や意見を述べ、また他の学生の意見を聞くことで、総合的な日本語力を向上させ、さまざまな視点から日本社会、日本人、日本語を見る。

概要：映画を見て、感想や疑問点、注目した日本語表現などをシートに書き提出する。その映画の解説や映画評、原作などに触れ、理解を深める。各学生は担当する映画を選び、同じ映

画を選んだ学生とともに、その映画について考察し発表する。その発表をもとにクラス全体で意見を交換する。各映画ごとに感想シートを提出、自分の担当した映画については、最終レポートを作成する。

評価：提出されたワークシートと感想シート、最終レポート、発表、授業参加態度に基づいて評価する。

### ★ JL205【日本語教育学】

日時：水 3 限

担当：小山<sup>こやまさとる</sup>悟

教材：ハンドアウトを用意する

目標&概要：このクラスでは、第二言語習得の観点から「学習者はいかに日本語を学んでいるのか」を学び、「日本語ができるとはどういうことか」を考えます。毎回30-40ページの資料または論文を自宅で読んできてもらうので、日本語教育に本当に興味のある人だけ来てください。

評価：出席20%、事前課題40%、自主研究レポート30%、自主研究発表10%

### ★ JC203【現代日本と社会の姿】

日時：火 2 限

担当：西頭<sup>にしとうゆきこ</sup>由紀子

教材：新聞記事、文献、単行本からの抜粋など。

目標&概要：日本や世界の時事ニュースや社会について書かれた文章を読んで、日本だけにこだわらずグローバルな時代に生きる人間と社会について広い視でとらえ、日本語で自分の述べる力をつけたい。

評価：レポート、提出物、授業中の発表で評価する。

### ★ JC204【現代の小説を読む】

日時：金 2 限

担当：疋田<sup>ひきたみのぶ</sup>美伸

教材：プリント、日本文学作品（短編小説、長編小説の一部）

配布予定：川上弘美、よしもとばなな、村上春樹、山田詠美 などの作品

目標：小説本来の面白さを味わう。日本語や日本文化、現代の日本社会のさまざまな側面についてより深い理解を得る。演習形式での意見発表や討論により、一層洗練された日本語の表現力を身につける。

概要：1) 授業の前に、教材として配布された作品を読み、簡単な読書メモを作ってくる。2) 授業では教材の内容について理解したことをお互いに話し合い、意見を交換し、作者の意図が込められている表現を掴む。さらに様々な観点から現代の日本社会と文化、日本人についての認識を深め合う。3) 授業活動のまとめとしてタスクシートを与える。タスクシートは基本的に

授業中に与え、時間内に回収する。4) 発表学生は「私の一冊」を紹介する  
評価：読書メモ、タスクシート、発表、授業参加態度に基づいて評価する。

### ★ JC205 【4コマ漫画にみる日本B】

日時：火5限

担当：和田<sup>わた</sup>玉<sup>たま</sup>己

教材：4コマ漫画とその内容に関する文章（エスニックジョーク、川柳、記事、4コマ漫画、ビデオ等）毎日かあさん・OL進化論・フジ三太郎世界の日本人ジョークアニメ 頭山（落語がオリジナルのもの）

目標：新聞連載の4コマ漫画などを見て、その内容について話し合い、4コマ漫画を通して日本の現代社会や笑いの異文化について考える。またステレオタイプについて考える。概要：ワークシートに沿って4コマ漫画の吹き出しのセリフを考える。セリフの中の日本語表現にも注目し、感想や疑問点を出し合う。また関連した文章も読み理解を深める。コースの前半はオリジナルの川柳を作ったり、自国のエスニックジョークを紹介したりする活動をし、期末に自国のステレオタイプを反映している外国作家による4コマ漫画を発表する。まとめとして、発表をもとにレポートを作成する。

### ★ ISP【自主研究】

日時：水3金2

担当：郭<sup>かく</sup>俊<sup>しゅん</sup>海<sup>かい</sup>

概要：必修科目は「文献講読」と「社会調査」に分かれる。「文献講読」と「社会調査」のどちらかを選んで履修する。

#### 1) 文献講読

各自が興味のある、日本語で書かれた日本の文化や社会等に関する単行本を一冊選び精読し、読んだ内容をまとめてレポートを書く（レポートシート使用）。提出したレポートシートをもとにクラスで口頭発表を行う。学期末にファイナル・レポート(A4サイズ10枚程度)を提出する。

#### 2) 社会調査

各自が興味のある分野（日本に関する）からテーマを決め、それに関する文献を読み、フィールド・スタディを行う。学期末にファイナル・レポート(A4サイズ10枚程度)を提出する。